



筒井633
☎98514140

松前町ふるさと
ライブラリー

11月の新刊

- ◆虚像の道化師／東野 圭吾
 - ◆神様のカルテ 3／夏川 真介
 - ◆屍者の帝国／伊藤 計劃・円城 塔
 - ◆ソロモンの偽証 第1部／宮部 みゆき
 - ◆日本大沈没／藤巻 健史
 - ◆光陰伝／沖方 丁
 - ◆ルパン、最後の恋／モリス・ルブラン
 - ◆九州新幹線マイナス1／西村 京太郎
- ※この他にもたくさんの本が入っています。

おはなしかい

日時 11月17日(土) 11時
場所 文化センター2階
第2研修室

絵本や紙しばい、パネルシアターなど
を使って毎回楽しいおはなしをします。
皆さん、ぜひ来てみてください。

11月のふるさとライブラリー

○開館時間 9時30分～19時
○休館日 11月30日(金)

東
公民館

神崎210
☎98411159

きたいよシニア大学

60歳を超えても、まだまだ人生現役！ 北伊予校区在住の60歳以上の人なら誰でも参加できる講座、それが「きたいよシニア大学」です。今年も133人の大学生が入学しています。

7月から来年の2月まで、年8回の学習計画で取り組んでいます。今後の予定として、11月に、高知県の四万十川遊覧と、宇和島方面の「1日館外研修」があります。

他にも「気軽に出来る軽体操」「知って得する税情報」など、心身ともに若返り参加者相互のふれあいを図る講座や税について学ぶ講座を予定しています。

大学生の皆さん、声を掛け合って来年の卒業まで休まず元気に頑張りましょう！



戦後史の正体

孫崎亨 著 / 創元社

元外務省・国際情報局長という日本のインテリジェンス(謀報)部門のトップで「外務省が生んだ唯一の国家戦略家」と呼ばれる筆者が、タブーを破り、日米関係と戦後70年の真実を語る。



ふくわらい

西加奈子 著 / 朝日新聞出版

マルキ・ド・サドをもじって名づけられた有名な編集者の鳴木戸定。感情を表さない彼女は、猪木に憧れるレスラーや盲目の男性との付き合いを通じて、人との距離を縮めていく…。



どんぐりむらのおまわりさん

なかや みわ 作 / 学研教育出版

村の平和を守るため、どんぐりむらのおまわりさんは今日もパトロール。男の子「いち」は、おまわりさんになれるよう毎日頑張るのですが…。



若おかみは小学生！
PART 18

令文ヒロ子 作 / 亜沙美絵 / 講談社

女子会に、デートにと、充実した毎日を過ごすおっこ。ところが、ときどきウリ坊と美陽のいうことが聞こえなくなったり、姿が見えなくなったりするようになって…。



西
公民館

北黒田966-2
☎98415313

第23回 松前校区
親子スポーツ大会

9月23日、スポーツ大会当日。前日から降り続いた雨のため、運動場のあちらこちらに水たまりがあり、「これは無理じゃな」の声が上がっていました。しかし、地域の三世代が集まって親睦と連帯を深めるこの大会を、ぜひ実施したいという役員、審判団の熱い思いと工夫によって、何とか開催にこぎつけました。

子どもから大人まで、約180人が各分館に分かれ、男子はグラウンドゴルフ、女子はレクリエーションバレーボールで、真剣に、しかも和気あいあいとプレーを楽しみました。最後に、運動場をきれいに整地して大会を終えました。選手の皆さん、役員の皆さん、本当にありがとうございました。



包
括支援

筒井71011
☎98514205

松前町地域包括
支援センター

認知症高齢者の接し方

認知症は、本人の性格や症状に応じて上手に接することが大変重要になります。
◆認知症高齢者と接するときの心構え
①「本人は何もわかっていない」は誤り
認知症高齢者は、物忘れが増えることで、日常生活動作ができなくなることに対し、誰よりも本人が驚き、混乱しています。まず、認知症高齢者の気持ちに寄り添いましょう。

②「その人らしさ」を大切に
「認知症だからこうにちがいない」と決め付ける接し方は避けましょう。高齢者の個性や人生に基づく「その人らしさ」を大切にしましょう。

③「否定よりも肯定」の気持ちで
介護者は、認知症高齢者の思わぬ言動に戸惑うことがあります。誤りや失敗に対して「大丈夫」と肯定する気持ちを示すことで、本人の罪悪感や孤独感は和らぎます。

認知症の症状が進行しても、感情やその人らしさは残っています。認知症の人の尊厳を保ち、不安や苦しみ、孤独感などを和らげる関わり方や環境作りをしましょう。そうすれば、症状を和らげたり、安定させたりすることができます。

北
公民館

昌農内456-1
☎98417529

石のアート・
廃材アート教室

今年も小中学生と保護者を対象に、渡邊博明先生を講師に迎え、身近な石ころに絵を描いたり組み合わせたりする「石のアート」と、アサリやシジミの貝殻・発泡スチロール・ガチャポンケースなどを使う「廃材アート」教室を開催しました。

多数の参加があり、個性豊かにかつユニークな作品がたくさん仕上がりました。本館の人気行事であり、各々の芸術性を存分に発揮するよい機会となっています。作品はまさき文化祭に展示後、北公民館2階でも公開しています。未だの芸術家の作品をぜひ、ご覧ください。

また、北条ユネスコ「小石の芸術展」にも出品し、6人が佳作に入選しました。

